

「作業の手引き」に基づく
教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の
量の見込みについて

項目		頁
1	人口推計	1
2	潜在家庭類型別児童数	2
3	教育・保育	7
	(1) 1号認定(認定こども園及び幼稚園)(3歳～5歳)	7
	(2) 2号認定(学校教育の利用希望が強いもの)(3歳～5歳)	9
	(3) 2号認定(認定こども園及び保育所)(3歳～5歳)	11
	(4) 3号認定(0歳～2歳)	14
	区域別 教育・保育の量の見込み	17
4	地域子ども・子育て支援事業	19
	(1) 時間外保育事業	19
	(2) 放課後児童健全育成事業	21
	(3) 子育て短期支援事業	24
	(4) 地域子育て支援拠点事業	26
	(5) 一時預かり事業	28
	(6) 病児保育事業	36
	(7) 子育て援助活動事業(ファミリー・サポート・センター事業)	38
	(8) 利用者支援に関する事業	40
	(9) 妊婦健康診査事業	40
	(10) 乳児家庭全戸訪問事業	41
(11) 養育支援訪問事業	41	

1. 人口推計

平成21年～平成25年（各年4月1日時点）の男女別各歳別人口を基に、センサス変化率法により人口推計を行った。

全市

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	3,829	3,815	3,809	3,782	3,746
1歳	3,914	3,898	3,884	3,876	3,849
2歳	3,900	3,925	3,909	3,895	3,887
3歳	3,916	3,908	3,934	3,918	3,904
4歳	3,875	3,893	3,886	3,911	3,895
5歳	4,071	3,872	3,890	3,882	3,908
就学前計	23,505	23,311	23,312	23,264	23,189
6歳	4,040	4,068	3,871	3,889	3,880
7歳	3,998	4,036	4,064	3,868	3,885
8歳	3,944	4,002	4,040	4,070	3,874
9歳	3,922	3,944	4,003	4,041	4,073
10歳	4,196	3,928	3,950	4,010	4,049
11歳	4,080	4,202	3,932	3,956	4,015
小学生計	24,180	24,180	23,860	23,834	23,776
総計	47,685	47,491	47,172	47,098	46,965

01 都心

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	1,008	1,000	998	990	979
1歳	1,028	1,023	1,015	1,013	1,005
2歳	1,045	1,043	1,038	1,030	1,028
3歳	1,048	1,050	1,048	1,043	1,035
4歳	1,031	1,036	1,039	1,037	1,032
5歳	1,090	1,040	1,045	1,047	1,046
就学前計	6,250	6,192	6,183	6,160	6,125
6歳	1,087	1,113	1,062	1,067	1,069
7歳	1,036	1,097	1,124	1,073	1,077
8歳	1,035	1,040	1,100	1,128	1,077
9歳	1,023	1,040	1,046	1,105	1,134
10歳	1,145	1,027	1,044	1,051	1,109
11歳	1,131	1,146	1,028	1,045	1,052
小学生計	6,457	6,463	6,404	6,469	6,518
総計	12,707	12,655	12,587	12,629	12,643

02 中部

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	1,022	1,031	1,043	1,050	1,052
1歳	1,037	1,044	1,053	1,065	1,072
2歳	1,023	1,048	1,055	1,064	1,076
3歳	1,039	1,024	1,049	1,056	1,065
4歳	1,011	1,051	1,036	1,061	1,068
5歳	1,048	1,009	1,049	1,034	1,059
就学前計	6,180	6,207	6,285	6,330	6,392
6歳	1,009	1,041	1,003	1,042	1,027
7歳	951	1,001	1,033	995	1,034
8歳	929	957	1,008	1,040	1,002
9歳	934	933	962	1,013	1,045
10歳	893	937	936	965	1,017
11歳	861	897	941	940	969
小学生計	5,577	5,766	5,883	5,995	6,094
総計	11,757	11,973	12,168	12,325	12,486

03 東部北

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	494	486	479	468	459
1歳	520	513	505	496	485
2歳	535	523	516	508	499
3歳	525	539	527	520	512
4歳	535	523	537	525	518
5歳	564	533	521	535	523
就学前計	3,173	3,117	3,085	3,052	2,996
6歳	578	555	525	513	527
7歳	635	577	554	524	512
8歳	607	633	575	553	523
9歳	621	604	630	572	550
10歳	643	620	603	629	571
11歳	613	642	618	602	628
小学生計	3,697	3,631	3,505	3,393	3,311
総計	6,870	6,748	6,590	6,445	6,307

04 東部南

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	315	311	308	303	297
1歳	314	312	308	305	300
2歳	300	308	306	302	299
3歳	304	292	300	298	294
4歳	298	298	286	294	292
5歳	313	291	291	279	287
就学前計	1,844	1,812	1,799	1,781	1,769
6歳	310	302	280	281	269
7歳	300	308	300	278	279
8歳	318	298	306	298	276
9歳	318	316	296	304	296
10歳	339	318	316	296	304
11歳	327	339	317	316	295
小学生計	1,912	1,881	1,815	1,773	1,719
総計	3,756	3,693	3,614	3,554	3,488

05 西部北

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	288	286	282	278	273
1歳	292	288	286	282	278
2歳	279	283	279	277	273
3歳	287	275	279	275	273
4歳	264	275	263	267	263
5歳	278	261	272	260	264
就学前計	1,688	1,668	1,661	1,639	1,624
6歳	270	270	253	264	252
7歳	275	266	265	249	260
8歳	275	272	263	262	246
9歳	269	272	268	260	259
10歳	314	267	270	266	259
11歳	291	313	266	269	265
小学生計	1,694	1,660	1,585	1,570	1,541
総計	3,382	3,328	3,246	3,209	3,165

06 西部南

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	485	487	487	486	484
1歳	490	489	491	491	490
2歳	466	485	484	486	486
3歳	473	471	491	490	492
4歳	485	468	466	485	484
5歳	516	487	470	468	487
就学前計	2,915	2,887	2,889	2,906	2,923
6歳	509	519	491	474	471
7歳	510	512	522	494	477
8歳	480	509	511	521	493
9歳	475	479	508	510	520
10歳	540	477	481	510	512
11歳	540	542	479	483	512
小学生計	3,054	3,038	2,992	2,992	2,985
総計	5,969	5,925	5,881	5,898	5,908

07 南部

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
0歳	217	214	212	207	202
1歳	233	229	226	224	219
2歳	252	235	231	228	226
3歳	240	257	240	236	233
4歳	251	242	259	242	238
5歳	262	251	242	259	242
就学前計	1,455	1,428	1,410	1,396	1,360
6歳	277	268	257	248	265
7歳	291	275	266	255	246
8歳	300	293	277	268	257
9歳	282	300	293	277	269
10歳	322	282	300	293	277
11歳	317	323	283	301	294
小学生計	1,789	1,741	1,676	1,642	1,608
総計	3,244	3,169	3,086	3,038	2,968

注記：「全市」は、「01 都心」から「07 南部」の各区域ごとの推計人口を合算したものである。

2. 家庭類型の分類

(1) 現在の家庭類型

【現在の家庭類型】

タイプA＝ひとり親家庭

タイプB～Fは保護者の就労形態や就労時間によって下記の通り分類

父親		母親	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない	
			120時間以上	120時間未満 下限時間以上	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満		
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中			タイプB	タイプC	タイプC'				
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上		タイプC	タイプE			タイプD		
	120時間未満 下限時間以上				タイプE'				
	下限時間未満		タイプC'			タイプE'			
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない						タイプD		タイプF	

<下限時間（保育の必要性の下限時間）について>

- ・保育の必要性の下限時間（利用する人の就労時間の最低基準）については、48時間～64時間の間で各自治体が定めることとなっている。
- ・下限時間は保育所や放課後児童クラブの待機問題や施設整備に大きく影響するため、当資料では、「下限時間 48 時間の場合」「下限時間 64 時間の場合」の2つのパターンで量の見込みを算出する。

(2) 潜在的な家庭類型の算出方法

両親の現在の就労状況に母親の就労希望を反映させて「潜在的な家庭類型」を算出する。（詳細は国の手引きの通り）

例：パートタイムからフルタイムへの移行（C・C' から B への転換）

無業からフルタイムへの移行（D から B への転換、F から D への転換）

無業からパートタイムへの移行（D から C、C' への転換）

フルタイム・パートタイムから無業への移行（B から D への転換、C から D への転換）など

【家庭類型別割合】

■ 下限時間 48 時間の場合

I. 家庭類型集計結果	シートA
-------------	------

■ 0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	10	0.01	10	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	562	0.44	598	0.47
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	202	0.16	193	0.15
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	118	0.09	121	0.10
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	359	0.28	333	0.26
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4	0.00	3	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.00
タイプF 無業×無業	13	0.01	9	0.01
全体	1268	1.0	1268	1.0

■ 0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	2	0.01	2	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	96	0.48	99	0.50
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	32	0.16	30	0.15
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	0.02	7	0.04
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	66	0.33	60	0.30
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプF 無業×無業	1	0.01	0	0.00
全体	200	1.0	200	1.0

■ 1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	206	0.46	222	0.50
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	78	0.17	67	0.15
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	15	0.03	21	0.05
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	138	0.31	129	0.29
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	4	0.01	3	0.01
全体	447	1.0	447	1.0

■ 3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	259	0.42	276	0.45
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	92	0.15	96	0.15
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	100	0.16	93	0.15
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	155	0.25	144	0.23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	8	0.01	6	0.01
全体	620	1.0	620	1.0

■ 下限時間 64 時間の場合

I. 家庭類型集計結果 シートA

■ 0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	10	0.01	10	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	562	0.44	598	0.47
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	194	0.15	180	0.14
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	126	0.10	137	0.11
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	359	0.28	330	0.26
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	4	0.00	3	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.00
タイプF 無業×無業	13	0.01	9	0.01
全体	1268	1.0	1268	1.0

■ 0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	2	0.01	2	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	96	0.48	99	0.50
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	32	0.16	30	0.15
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	3	0.02	7	0.04
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	66	0.33	60	0.30
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	1	0.01
タイプF 無業×無業	1	0.01	0	0.00
全体	200	1.0	200	1.0

■ 1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	206	0.46	222	0.50
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	74	0.17	63	0.14
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	0.04	28	0.06
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	138	0.31	126	0.28
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	4	0.01	3	0.01
全体	447	1.0	447	1.0

■ 3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	4	0.01	4	0.01
タイプB フルタイム×フルタイム	259	0.42	276	0.45
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	88	0.14	87	0.14
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	104	0.17	102	0.16
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	155	0.25	144	0.23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	8	0.01	6	0.01
全体	620	1.0	620	1.0

【潜在家庭類型別児童数】

■ 下限時間 48 時間の場合

I-1. 潜在家庭類型別児童数	シートA-1
------------------------	---------------

■ 0歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	185	184	184	183	183
タイプB フルタイム×フルタイム	11,085	10,994	10,994	10,972	10,936
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,578	3,548	3,548	3,541	3,530
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,243	2,224	2,225	2,220	2,213
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	6,173	6,122	6,122	6,110	6,090
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	55	55	55	55
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	18	18	18	18
タイプF 無業×無業	167	165	165	165	165
全体	23,505	23,311	23,312	23,264	23,189

■ 0歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	38	38	38	38	37
タイプB フルタイム×フルタイム	1,895	1,888	1,885	1,872	1,854
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	574	572	571	567	562
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	134	134	133	132	131
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	1,149	1,145	1,143	1,135	1,124
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	3,829	3,815	3,809	3,782	3,746

■ 1・2歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	70	70	70	70	69
タイプB フルタイム×フルタイム	3,881	3,885	3,870	3,859	3,842
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,171	1,173	1,168	1,165	1,160
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	367	368	366	365	363
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	2,255	2,258	2,249	2,243	2,233
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	17	18	17	17	17
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	52	53	52	52	52
全体	7,814	7,823	7,793	7,771	7,736

■ 3歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	77	75	76	76	76
タイプB フルタイム×フルタイム	5,281	5,196	5,213	5,213	5,212
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,837	1,807	1,813	1,813	1,813
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,779	1,751	1,757	1,757	1,756
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	2,755	2,711	2,720	2,720	2,719
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	115	113	113	113	113
全体	11,862	11,673	11,710	11,711	11,707

■ 下限時間 64 時間の場合

I-1. 潜在家庭類型別児童数

シートA-1

■ 0歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	185	184	184	183	183
タイプB フルタイム×フルタイム	11,085	10,994	10,994	10,972	10,936
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,337	3,309	3,309	3,302	3,292
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	2,540	2,519	2,519	2,514	2,505
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	6,117	6,067	6,067	6,055	6,035
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	55	55	55	55
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	18	18	18	18
タイプF 無業×無業	167	165	165	165	165
全体	23,505	23,311	23,312	23,264	23,189

■ 0歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	38	38	38	38	37
タイプB フルタイム×フルタイム	1,895	1,888	1,885	1,872	1,854
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	574	572	571	567	562
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	134	134	133	132	131
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	1,149	1,145	1,143	1,135	1,124
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	3,829	3,815	3,809	3,782	3,746

■ 1・2歳

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	70	70	70	70	69
タイプB フルタイム×フルタイム	3,881	3,885	3,870	3,859	3,842
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,101	1,103	1,098	1,095	1,090
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	489	490	488	487	485
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	2,203	2,205	2,197	2,190	2,181
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	17	18	17	17	17
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	52	53	52	52	52
全体	7,814	7,823	7,793	7,771	7,736

■ 3歳～就学前

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
タイプA ひとり親	77	75	76	76	76
タイプB フルタイム×フルタイム	5,281	5,196	5,213	5,213	5,212
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,665	1,638	1,643	1,643	1,643
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,951	1,920	1,926	1,927	1,926
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	2,755	2,711	2,720	2,720	2,719
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	19	19	19	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	115	113	113	113	113
全体	11,862	11,673	11,710	11,711	11,707

3. 教育・保育の量の見込みの算出

(1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

■国の手引き

①対象
年 齢：3歳以上
潜在家庭類型：C'、D、E'、F
②利用意向率
問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。
③量の見込みの算出
「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

国の調査票・問16は、高松市調査票・問8

■高松市の考え方

②利用意向率について
回答者は、幼稚園の預かり保育について、定期的に保育が必要という意味ではなく、一時的な利用という意味で捉える可能性があるため、高松市では問8で「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」または「3. 認定こども園」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。（大阪府版手引きに準じる）

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の量の見込み）

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	11,862	0.006	77
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	5,281
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	1,837
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,779
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))		0.232	2,755
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	115

<ニーズ量の算出>

①<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1,779	0.722	1,285
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	2,755	0.889	2,449
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	115	0.833	96

同様に下限時間48時間及び下限時間64時間別に平成27年度～31年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

< 1号認定（認定こども園及び幼稚園）の量の見込み >

（単位：人）

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	3,830	3,769	3,781	3,781	3,780
下限64時間の場合	3,964	3,901	3,913	3,913	3,912

(2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）

■国の手引き

①対象
年 齢：3歳以上
潜在家庭類型：A、B、C、E
②利用意向率
問15-1（平日定期的に利用している教育・保育の事業）に回答した者のうち、問15-1で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。
③量の見込みの算出
「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

※国の調査票・問15-1は、高松市調査票・問7

※但し、高松市では「1. 幼稚園（預かり保育を含む）」とする

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の量の見込み）

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	11,862	0.006	77
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	5,281
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	1,837
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,779
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))		0.232	2,755
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	115

<ニーズ量の算出>

②<2号認定>(幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	77	0.750	57
タイプB フルタイム×フルタイム	5,281	0.197	1,040
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,837	0.531	976
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	1.000	19

同様に下限時間48時間及び下限時間64時間別に平成27年度～31年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<2号認定(幼稚園)の量の見込み>

(単位:人)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,092	2,059	2,065	2,065	2,065
下限64時間の場合	2,001	1,969	1,975	1,975	1,974

<幼稚園利用者の見込量>

前述の「1号認定」と「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」が、現状の幼稚園利用者であると考えられるため、実態の推移と見込量を比較すると以下の通りであり、実態に比べて量の見込みが少ない。

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	7,088	6,994	6,750	6,852	6,748	5,922	5,827	5,846	5,846	5,844
下限64時間の場合						5,965	5,870	5,888	5,889	5,887

※実態は「幼稚園」利用人数

※実態は「幼稚園利用者」

推計は、「1号認定」＋「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」

(3) 2号認定（認定こども園及び保育所）

■国の手引き

<p>①対象</p> <p>年 齢：3歳以上</p> <p>潜在家庭類型：A、B、C、E</p> <p>②利用意向率</p> <p>上記対象者について、問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）から、「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」の割合を控除した割合を算出する。</p> <p>③量の見込みの算出</p> <p>「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」</p>

国の調査票・問16は、高松市調査票・問8及び問8-1

<量の見込みの算出プロセス> (例：下限時間48時間の場合の平成27年度の量の見込み)

■3歳～就学前家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	11,862	0.006	77
タイプB フルタイム×フルタイム		0.445	5,281
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.155	1,837
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.150	1,779
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))		0.232	2,755
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	19
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.010	115

<ニーズ量の算出>

③<2号認定>(認定こども園及び保育所)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	77	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	5,281	0.785	4,144
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,837	0.437	803
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	0.000	0

同様に下限時間48時間及び下限時間64時間別に平成27年度～31年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<2号認定（認定こども園及び保育所）の量の見込み>

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	4,871	4,841	4,843	4,954	5,088	4,947	4,868	4,884	4,884	4,882
下限64時間の場合						4,947	4,868	4,884	4,884	4,882

※実態は「保育所」(3～5歳児)利用人数

< 3 - 5歳の幼稚園・保育所・認可外保育施設利用を利用している合計児童数 >

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	12,045	11,925	11,710	11,926	11,981	10,869	10,696	10,729	10,730	10,727
下限64時間の場合						10,912	10,738	10,772	10,773	10,769

※実態は3～5歳で「幼稚園」「保育所」「認可外保育施設」利用人数合計

■国の手引き

(1) 1号認定(認定こども園及び幼稚園)、(2) 2号認定(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの)及び(3) 2号認定(認定こども園及び保育所)の数は、現在幼稚園又は認可保育所を利用している自市町村に居住する3～5歳の子ども数と同じかそれを上回ることが基本であると考えられるため、これと異なる結果となっている場合には、適切な補正が必要。

■高松市の考え方

先に推計した量の見込みと現在幼稚園又は認可保育所を利用している3～5歳の子ども数とを比べると、量の見込みが実態を下回るため、下記の方法により調整する。

- ・国手引きでは現在幼稚園又は認可保育所を利用している児童数との比較となっているが、本市では3～5歳人口との比較とする。
- ・将来の3～5歳人口と1号認定及び2号認定の合計の差分を、「幼稚園」と「保育所」の利用割合で按分する。なお、按分した「幼稚園」分はすべて1号認定に加算する。

< 3歳以上の教育・保育の量の見込み >

①1号認定(認定こども園及び幼稚園)

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	/	/	/	/	/	4,371	4,301	4,315	4,316	4,314
下限64時間の場合	/	/	/	/	/	4,483	4,412	4,426	4,426	4,425

②2号認定(幼稚園)

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	/	/	/	/	/	2,092	2,059	2,065	2,065	2,065
下限64時間の場合	/	/	/	/	/	2,001	1,969	1,975	1,975	1,974

③2号認定(認定こども園及び保育所)

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合						5,399	5,313	5,330	5,330	5,328
下限64時間の場合	4,871	4,841	4,843	4,954	5,088	5,378	5,292	5,309	5,310	5,308

※実態は「保育所」(3~5歳児)利用人数

■1号認定+2号認定(幼稚園)

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合						6,463	6,360	6,380	6,381	6,379
下限64時間の場合	7,088	6,994	6,750	6,852	6,748	6,484	6,381	6,401	6,401	6,399

※実態は「幼稚園」利用人数

■1号認定+2号認定(幼稚園)+2号認定(認定こども園及び保育所)

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合						11,862	11,673	11,710	11,711	11,707
下限64時間の場合	12,045	11,925	11,710	11,926	11,981	11,862	11,673	11,710	11,711	11,707

※実態は3~5歳で「幼稚園」「保育所」「認可外保育施設」利用人数合計

(4) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

■国の手引き

①対象

年 齢：0歳、1・2歳の区分で算出

潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

上記対象者について、問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問16で「3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

※国の調査票・問16は、高松市調査票・問8-1

■高松市の考え方

②利用意向率について

ニーズ調査に基づく量の見込みでは、0歳児及び1・2歳児の保育利用率は、下限48時間、64時間いずれの場合も60%程度と極めて高く、保育所入所実績と乖離している。

これは、家庭類型には「育休中」の人数が含まれており、3号認定は、これにニーズ調査から算出された保育利用率を掛け合わせることで量の見込みを算出しているためと考えられる。そこで、児育休中の人数を引いた潜在家庭類型別児童数を用いて量の見込みを算出する。

※0歳児（タイプABCE計）の育児休業中割合：48時間・64時間ともに48.5%

※1・2歳児（タイプABCE計）の育児休業中割合：48時間・15.6%、64時間・15.9%

<量の見込みの算出プロセス> (例: 下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の量の見込み)

■0歳児家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	1,971	0.010	20
タイプB フルタイム×フルタイム		0.495	976
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.150	296
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.005	10

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	20	0.500	10
タイプB フルタイム×フルタイム	976	0.950	926
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	296	0.931	275
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	10	1.000	10

■1・2歳児家庭のみ

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	6,595	0.009	59
タイプB フルタイム×フルタイム		0.497	3,275
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.150	989
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.002	15

<ニーズ量の算出>

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	59	1.000	59
タイプB フルタイム×フルタイム	3,275	0.907	2,969
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	989	0.964	953
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	15	0.000	0

同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 27 年度~31 年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<3号認定(認定こども園及び保育所+地域型保育)の量の見込み>

■0歳児家庭のみ

(単位:人)

	実態(各年4月1日)					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	440	446	443	471	434	1,221	1,218	1,216	1,207	1,195
下限64時間の場合						1,221	1,218	1,216	1,207	1,195

※実態は「保育所」(0歳児)利用人数

■1・2歳児家庭のみ

(単位:人)

	実態(各年4月1日)					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,783	2,843	2,956	3,078	3,068	3,981	3,986	3,970	3,960	3,942
下限64時間の場合						3,920	3,925	3,910	3,899	3,981

※実態は「保育所」(1~2歳児)利用人数

注記: 25 年度末の保育所利用児童数: 0 歳児 1,086 人、1・2 歳児 3,176 人

<参考>

国の手引きに基づく3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）の量の見込み

■0歳児家庭のみ

(単位:人)

	実態(各年4月1日)					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	440	446	443	471	434	2,373	2,364	2,360	2,344	2,321
下限64時間の場合						2,373	2,364	2,360	2,344	2,321

※実態は「保育所」(0歳児)利用人数

■1・2歳児家庭のみ

(単位:人)

	実態(各年4月1日)					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,783	2,843	2,956	3,078	3,068	4,717	4,723	4,705	4,691	4,670
下限64時間の場合						4,645	4,650	4,633	4,620	4,599

※実態は「保育所」(1～2歳児)利用人数

<区域別 教育・保育事業の量の見込み>

区域別の量の見込みは、将来の該当年齢の児童人口に、現状での利用率を加味して算出した。

※1号認定、2号認定を13ページで算出した量の見込みとした場合

(1)1号認定(認定こども園及び幼稚園)

(単位:人)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	4,371	4,301	4,315	4,316	4,314	4,483	4,412	4,426	4,426	4,425
都心	1,170	1,150	1,153	1,150	1,143	1,200	1,181	1,181	1,179	1,175
中部	1,430	1,421	1,442	1,450	1,469	1,467	1,457	1,480	1,487	1,506
東部北	889	871	864	861	847	911	893	887	883	868
東部南	125	120	119	118	119	128	123	122	121	122
西部北	190	186	186	183	183	195	190	191	188	187
西部南	380	367	367	371	376	390	377	377	381	386
南部	187	186	184	183	177	192	191	188	187	181

※将来の児童人口割合に現状の幼稚園利用率を加味して按分

(2)2号認定(幼児期の学校教育の利用希望が強いもの)

(単位:人)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	2,092	2,059	2,065	2,065	2,065	2,001	1,969	1,975	1,975	1,974
都心	559	551	551	549	548	535	527	527	526	524
中部	685	680	690	694	703	655	650	660	663	672
東部北	425	417	414	412	405	407	399	396	394	387
東部南	60	57	57	57	57	57	55	55	54	54
西部北	91	89	89	88	87	87	85	85	84	84
西部南	182	176	176	178	180	174	168	168	170	172
南部	90	89	88	87	85	86	85	84	84	81

※将来の児童人口割合に現状の幼稚園利用率を加味して按分

(3)2号認定(認定こども園及び保育所)

(単位:人)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	5,399	5,313	5,330	5,330	5,320	5,378	5,292	5,309	5,310	5,308
都心	1,489	1,472	1,475	1,476	1,468	1,483	1,466	1,471	1,468	1,465
中部	1,029	1,026	1,044	1,051	1,064	1,025	1,022	1,040	1,047	1,061
東部北	650	639	636	634	623	647	636	633	632	622
東部南	624	602	600	596	597	621	599	597	594	596
西部北	445	436	439	432	431	444	435	437	431	430
西部南	718	695	697	705	715	715	693	694	703	713
南部	444	443	439	436	422	443	441	437	435	421

※将来の児童人口割合に現状の幼稚園利用率を加味して按分

■幼稚園合計

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	6,463	6,360	6,380	6,381	6,379	6,484	6,381	6,401	6,401	6,399
都心	1,729	1,701	1,704	1,699	1,691	1,735	1,708	1,708	1,705	1,699
中部	2,115	2,101	2,132	2,144	2,172	2,122	2,107	2,140	2,150	2,178
東部北	1,314	1,288	1,278	1,273	1,252	1,318	1,292	1,283	1,277	1,255
東部南	185	177	176	175	176	185	178	177	175	176
西部北	281	275	275	271	270	282	275	276	272	271
西部南	562	543	543	549	556	564	545	545	551	558
南部	277	275	272	270	262	278	276	272	271	262

(4)3号認定(認定こども園及び保育所)

<0歳児>

(単位:人)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	1,221	1,218	1,216	1,207	1,195	1,221	1,218	1,216	1,207	1,195
都心	375	371	371	368	366	375	371	371	368	366
中部	302	305	309	311	311	302	305	309	311	311
東部北	162	160	158	154	151	162	160	158	154	151
東部南	103	102	101	99	97	103	102	101	99	97
西部北	101	101	99	98	96	101	101	99	98	96
西部南	114	115	115	115	114	114	115	115	115	114
南部	64	64	63	62	60	64	64	63	62	60

※将来の児童人口割合に現状の保育所利用率を加味して按分

<1・2歳児>

(単位:人)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	3,981	3,986	3,970	3,960	3,942	3,920	3,925	3,910	3,899	3,881
都心	1,187	1,184	1,178	1,175	1,170	1,168	1,166	1,161	1,156	1,152
中部	771	784	791	800	809	759	772	779	788	796
東部北	514	506	499	492	482	506	498	491	484	475
東部南	427	432	428	424	419	421	426	422	418	413
西部北	301	302	299	296	292	296	297	294	291	288
西部南	464	474	475	476	477	457	466	468	469	469
南部	317	304	300	297	293	313	300	295	293	288

※将来の児童人口割合に現状の保育所利用率を加味して按分

4. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法

(1) 時間外保育事業

■国の手引き

<p>①対象</p> <p>年 齢：0～5歳</p> <p>潜在家庭類型：A、B、C、E</p> <p>②利用意向率</p> <p>上記の対象者について、問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、「3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）」から「10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択している、かつ、問15-2（2）（利用希望時間）で、「18時以降」と記入してある場合の割合を算出する。（但し、無回答を除いて割り戻す）</p> <p>③量の見込みの算出</p> <p>「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」</p>

※国の調査票・問16は、高松市調査票・問8

※国の調査票・問15-2（2）は、高松市調査票・問8-1

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間48時間の場合の平成27年度の量の見込み）

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,505	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,085
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.152	3,578
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	56

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	185	0.429	79
タイプB フルタイム×フルタイム	11,085	0.466	5,160
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	3,578	0.214	767
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	56	0.000	0

同様に下限時間48時間及び下限時間64時間別に平成27年度～31年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<時間外保育事業の実績と量の見込み>

(単位:人)

	実績 H24年度	推計				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	3,153	6,006	5,957	5,957	5,945	5,926
下限64時間の場合		5,950	5,901	5,901	5,889	5,870

<区域別 時間外保育の量の見込み>

区域別の量の見込みは、前項で推計した将来の保育所利用児童数の割合で按分して算出した。

(1)時間外保育事業

(単位:人)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	6,006	5,957	5,957	5,945	5,926	5,950	5,901	5,901	5,889	5,870
都心	1,730	1,713	1,713	1,709	1,703	1,712	1,699	1,698	1,694	1,687
中部	1,191	1,198	1,215	1,224	1,237	1,180	1,187	1,204	1,213	1,226
東部北	751	740	732	725	712	744	732	725	718	705
東部南	653	643	640	634	631	648	637	634	628	625
西部北	480	476	474	468	464	475	471	469	463	460
西部南	734	728	729	734	740	727	720	722	727	732
南部	467	459	454	451	439	464	455	449	446	435

※将来の保育所利用割合で按分

(2) 放課後児童健全育成事業

■国の手引き

①対象

年 齢：5歳児

潜在家庭類型：A、B、C、E

②利用意向率

上記対象者のうち、低学年については、問26（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。高学年については、問27（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

ただし、「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」の利用希望を選択し、かつ、6. 以外の選択肢も選択している者について、「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」の利用希望が週1～2回程度であれば、各自治体の実情に応じて、当該者の割合を控除して算出することも可能とする。

③量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

■高松市の考え方

国の手引きに基づき算出すると、実態に比べて過大な量となる。

そこで、本市では、①対象を小学生とし、②利用意向率について、小学生調査の問8（放課後児童クラブの利用状況）において「1. 利用している」または「利用したいが利用できていない」を選択した人数から、問8-2（放課後児童クラブを利用できていない理由）で「1. 利用要件を満たしていない」を選択した人数を引いた人数の全体に対する割合を、学年別に算出する。

③量の見込みの算出については、学年ごとに

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」を算出し、これを合算して全市の量の見込みとする。

<放課後児童健全育成事業の量の見込み>（下限時間48時間・64時間共通）

（単位：人）

	実態						推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
低学年	2,616	2,656	2,805	3,187	3,148	-	3,525	3,564	3,518	3,470	3,424
高学年							709	695	696	703	710
合計	2,616	2,656	2,805	3,187	3,148		4,234	4,259	4,214	4,173	4,134

<区域別 放課後児童健全育成事業の量の見込み>

(2) 放課後児童健全育成事業

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	1年	1,259	1,268	1,207	1,212	1,210
	2年	1,285	1,299	1,306	1,244	1,250
	3年	981	997	1,005	1,014	964
	4年	353	354	361	362	367
	5年	256	238	239	244	246
	6年	100	103	96	97	97
	合計	4,234	4,259	4,214	4,173	4,134
都心	1年	339	347	331	332	333
	2年	333	353	361	345	346
	3年	258	259	274	281	268
	4年	92	94	94	99	102
	5年	70	62	63	64	67
	6年	28	28	25	25	26
	合計	1,120	1,143	1,148	1,146	1,142
中部	1年	314	324	313	325	320
	2年	306	322	332	320	333
	3年	231	238	251	259	249
	4年	84	84	87	91	94
	5年	54	57	57	59	62
	6年	21	22	23	23	24
	合計	1,010	1,047	1,063	1,077	1,082
東部北	1年	180	173	164	160	164
	2年	204	186	178	169	165
	3年	151	158	143	138	130
	4年	56	54	57	51	50
	5年	39	38	37	38	35
	6年	15	16	15	15	15
	合計	645	625	594	571	559
東部南	1年	97	94	87	88	84
	2年	96	99	96	89	90
	3年	79	74	76	74	69
	4年	29	28	27	27	27
	5年	21	19	19	18	18
	6年	8	8	8	8	7
	合計	330	322	313	304	295
西部北	1年	84	84	79	82	79
	2年	88	86	85	80	84
	3年	68	68	65	65	61
	4年	24	24	24	23	23
	5年	19	16	16	16	16
	6年	7	8	6	7	6
	合計	290	286	275	273	269
西部南	1年	159	162	153	148	147
	2年	164	165	168	159	153
	3年	119	127	127	130	123
	4年	43	43	46	46	47
	5年	33	29	29	31	31
	6年	13	13	12	12	12
	合計	531	539	535	526	513
南部	1年	86	84	80	77	83
	2年	94	88	86	82	79
	3年	75	73	69	67	64
	4年	25	27	26	25	24
	5年	20	17	18	18	17
	6年	8	8	7	7	7
	合計	308	297	286	276	274

<参考>

国の手引きに基づく放課後児童健全育成事業の量の見込み

<1～4年生>

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	2,616	2,656	2,805	3,187	3,148	6,122	6,178	6,150	6,108	6,048
下限64時間の場合						6,057	6,113	6,085	6,044	5,984

※実態人数は「待機」を含む

<5～6年生>

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	/	/	/	/	/	1,678	1,648	1,598	1,615	1,635
下限64時間の場合						1,636	1,607	1,558	1,574	1,594

※実態人数は「待機」を含む

(3) 子育て短期支援事業

■国の手引き

<p>①対象</p> <p>年 齢：0歳から5歳以下</p> <p>潜在家庭類型：全てを対象</p> <p>②利用意向率</p> <p>上記対象者について、問25（泊りがけの預け先）に回答した者のうち、「イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）」、「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合を算出する。</p> <p>③利用意向日数</p> <p>上記対象者について、問25（泊りがけの預け先）が「1. あった」者のうち、「イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」、「オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。</p> <p><留意事項></p> <p>就学児に対して調査を行っていない場合は、就学前子どもに係る推計で足りるが、就学児に調査を行っている場合や事業の利用実績データがある場合には、市町村の判断で、当該調査の結果等を使用して、就学児に係る量の見込みを算出することも可能とする。</p> <p>④量の見込みの算出</p> <p>「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数（日）」 = 「量の見込み（人日）」</p>
--

※国の調査票・問25は、高松市調査票・問14

<量の見込みの算出プロセス> (例: 下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の量の見込み)

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,505	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,085
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.152	3,578
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.095	2,243
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))		0.263	6,173
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.002	56
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.001	19
タイプF 無業×無業		0.007	167

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	185	0.000	0
タイプB フルタイム×フルタイム	11,085	0.000	0
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	3,578	0.000	0
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	2,243	0.000	0
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	6,173	0.009	57
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	56	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	19	0.000	0
タイプF 無業×無業	167	0.000	0

同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 27 年度～31 年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<子育て短期支援事業の量の見込み>

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	51	69	62	17	-	57	57	57	57	57
下限64時間の場合						57	56	56	56	56

<区域別 子育て短期支援事業の量の見込み>

区域別の量の見込みは、将来の児童数割合で按分して算出した。

(3)子育て短期支援事業

(単位:人日)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	57	57	57	57	57	57	56	56	56	56
都心	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
中部	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
東部北	8	8	8	7	7	8	7	7	7	7
東部南	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西部北	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西部南	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
南部	4	3	3	3	3	4	3	3	3	3

※就学前の将来の児童数割合で按分

(4) 地域子育て支援拠点事業

■国の手引き

①対象

年 齢：0歳から2歳

潜在家庭類型：全てを対象

②利用意向率

上記対象者について、問 17（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をする場）（を利用している）」と回答した者の人数と、問 18（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数（問 17 または問 18 の無回答の人数を除く）で割ったものを算出する。

③利用意向回数

上記対象者について、問 17（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をする場）（を利用している）」と回答した者と、問 18（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「1. 利用していないが、今後利用したい」「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した者の月当たり平均利用回数。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向回数（回）」×12か月
＝「量の見込み（人回）」

※国の調査票・問 17 は、高松市調査票・問 19
国の調査票・問 18 は、高松市調査票・問 20

■高松市の考え方

国の手引きに基づき算出すると、実態に比べて過大な量となる。これは、この事業は在宅児が利用する事業であるにも関わらず、0～2歳のすべての児童を対象として算出しているためと考えられる。

そこで本市では、0～2歳児のうち、保育所利用者を除いて量の見込みを算出する。

量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（保育所利用者を除く）（人）」×「利用意向率」
×「利用意向回数（回）」× 12か月 ＝「量の見込み（人回）」

<地域子育て支援拠点事業の量の見込み>

(単位:人回)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	44,357	63,396	63,996	65,276	-	157,188	157,017	156,578	155,846	154,845
下限64時間の場合						158,364	158,196	157,728	157,020	153,588

<区域別 地域子育て支援拠点事業の量の見込み>

区域別の量の見込みは、将来の児童数割合で按分して算出した。

(4)地域子育て支援拠点事業

(単位:人回)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全 市	157,188	157,017	156,578	155,846	154,845	158,364	158,196	157,728	157,020	153,588
都 心	41,595	41,366	41,176	40,914	40,620	41,907	41,676	41,478	41,222	40,290
中 部	41,611	42,136	42,524	42,883	43,156	41,920	42,452	42,838	43,207	42,804
東部北	20,912	20,534	20,244	19,857	19,460	21,069	20,689	20,392	20,006	19,302
東部南	12,542	12,561	12,443	12,276	12,083	12,636	12,655	12,534	12,368	11,985
西部北	11,597	11,562	11,431	11,291	11,112	11,684	11,649	11,515	11,376	11,022
西部南	19,454	19,711	19,731	19,735	19,689	19,600	19,859	19,876	19,884	19,530
南 部	9,477	9,147	9,029	8,890	8,725	9,548	9,216	9,095	8,957	8,655

※0～2歳の将来の児童数割合に現状の利用率を加味して按分

■参考

国の手引きに基づく地域子育て支援拠点事業の量の見込み

(単位:人回)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	44,357	63,396	63,996	65,276	-	296,512	296,385	295,468	294,220	292,412
下限64時間の場合						296,165	296,037	295,122	293,875	292,069

(5) 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業を除く]）

(5) -1 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

1) 1号認定による利用

■国の手引き

①対象者

年 齢：3歳から5歳以下

潜在家庭類型：C'、D、E'、F

②利用意向率

ア（1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合）×

イ（不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合）を算出する。

※ア：以下の割合

上記対象者について、問16（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択、かつ、問24（不定期事業の利用意向）で、「1. 利用したい」と選択した者が、これらの問の回答者数に占める割合

※イ：以下の割合

問15-1（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択、かつ、問23（不定期事業の利用状況）で、「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」から「6. その他」を選択した者のうち、問23で「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」または「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）」を選択した者の割合

③利用意向日数

上記対象者について、問24（不定期事業の利用意向）で「1. 利用したい」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数（日）」
＝「量の見込み（人日）」

※国の調査票・問16は、高松市調査票・問8

国の調査票・問24は、高松市調査票・問13

国の調査票・問15-1は、高松市調査票・問7-1

国の調査票・問23は、高松市調査票・問12

<量の見込みの算出プロセス> (例: 下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の量の見込み)

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	11,862	0.150	1,779
タイプD' フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))		0.232	2,755
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.000	0
タイプF' 無業×無業		0.010	115

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1,779	6.9	12,275
タイプD' フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	2,755	9.7	26,695
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF' 無業×無業	115	2.4	277

同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 27 年度~31 年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<1号認定による利用の量の見込み>

(単位:人日)

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	39,247	38,621	38,744	38,747	38,734
下限64時間の場合	40,917	40,265	40,393	40,396	40,382

2) 2号認定による利用

■国の手引き

①対象者

年齢: 3歳から5歳以下

潜在家庭類型: A、B、C、E

②利用意向率

1.0

※「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」は、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」を利用することによりニーズがカバー。

③利用意向日数

2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるものの間 12 (1) - 1で把握する「就労日数」※1週当たりα日 × 52週

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率」×「利用意向日数(日)」

= 「量の見込み(人日)」

但し、家庭類型別児童数は「2号認定(幼稚園)」の数

■高松市の考え方

国の手引きに基づく量の見込みは実態に比べて過大となっている。これは、2号認定（幼稚園）の場合、現実には、すべての人が預かり保育を利用するとは限らないこと、利用日数は母親の就労日数よりも少ないことなどが原因と考えられる。

そこで、本市では、②利用意向率については、ニーズ調査から、現在、家庭類型がA、B、C、Eで幼稚園を利用し、預かり保育を利用している割合（問8-1で15時以降までの利用）を算出（国は100%としている）。

また、③利用意向日数については、ニーズ調査項目では、預かり保育利用希望日数を把握できないため、国の手引き通り母親の就労日数とする。（したがって、まだ量の見込みは実態に比べて過大に算出されていると想定される。）

<量の見込みの算出プロセス>（例：下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の量の見込み）

②<2号認定>による利用

	利用意向率(割合)	就労日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.667	225,333	150.2
タイプB フルタイム×フルタイム	0.716	263,185	188.6
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.490	238,106	116.7
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.000	260,000	0.0

<2号認定による定期的な利用>

<家族類型別児童数の算出>

タイプA ひとり親
タイプB フルタイム×フルタイム
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)

c:家庭類型別児童数	
=	57
=	1,040
=	976
=	19

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	57	150.2	8,622
タイプB フルタイム×フルタイム	1,040	188.6	196,042
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	976	116.7	113,899
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	19	0.0	0

<2号認定（幼稚園）による利用の量の見込み>

（単位：人日）

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	318,563	313,487	314,481	314,508	314,400
下限64時間の場合	320,625	315,517	316,517	316,544	316,436

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）量の見込み計>

（単位：人日）

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	357,810	352,108	353,225	353,255	353,134
下限64時間の場合	361,542	355,782	356,909	356,940	356,818

■参考

国の手引きに基づく幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）の量の見込み（2号認定）

（単位：人日）

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	523,903	515,555	517,189	517,234	517,057
下限64時間の場合	508,346	500,247	501,832	501,875	501,704

■参考

国の手引きに基づく幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）の量の見込み（1号認定＋2号認定）

（単位：人日）

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	563,149	554,177	555,933	555,981	555,791
下限64時間の場合	549,263	540,512	542,225	542,271	542,086

(5) - 2 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外

■国の手引き

①対象者

年 齢：0歳から5歳以下

潜在家庭類型：全てを対象

②利用意向率

上記の対象者について、問 24（不定期事業の利用意向）に回答した者のうち、「1. 利用したい」を選択した者の割合

③利用意向日数

上記の対象者について、問 24（不定期事業の利用意向）で、「1. 利用したい」に回答のあった者の「平均日数」

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数（日）」
＝「量の見込み（人日）」

※国の調査票・問 24 は、高松市調査票・問 13

■高松市の考え方

国の手引きに基づく量の見込みは、実態に比べて過大な量となっている。これは、この事業は、在宅児が利用する事業であるにも関わらず、0歳～5歳のすべての児童を対象として算出しているためと考えられる。

そこで本市では、①対象を潜在家庭類型C'、D、E'、Fとする。

②利用意向率については、上記対象者について、問 7（定期的な教育・保育事業の利用有無）で「2. 利用していない」を選択し、かつ、問 13（不定期事業の利用意向）で「1. 利用したい」を選択した者の割合とする。

<量の見込みの算出プロセス> (例: 下限時間 48 時間の場合の平成 27 年度の量の見込み)

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	23,505	0.008	185
タイプB フルタイム×フルタイム		0.472	11,085
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.152	3,578
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.095	2,243
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))		0.263	6,173
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0.002	56
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0.001	19
タイプF 無業×無業		0.007	167

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりのニーズ量
タイプA ひとり親	185	0.000	
タイプB フルタイム×フルタイム	11,085	0.000	
タイプC フルタイム×パート(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	3,578	0.000	
タイプC' フルタイム×パート(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	2,243	8.395	12,275
タイプD フルタイムorパート×無業(専業主婦(夫))	6,173	10.902	26,695
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	56	0.000	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	19	0.000	0
タイプF 無業×無業	167	6.124	277

	問23「5. ベビーシッター」 「6. その他」の利用(人日)	e:ニーズ量(日)
-タイプA		0
-タイプB		0
-タイプC		0
-タイプC'		6,555
-タイプD	6	40,598
-タイプE		0
-タイプE'		0
-タイプF		744

同様に下限時間 48 時間及び下限時間 64 時間別に平成 27 年度～31 年度の量の見込みの算出を行った結果は次のとおりである。

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外の量の見込み>

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	14,966	15,984	14,819	13,957	-	47,904	47,810	47,691	47,510	47,245
下限64時間の場合						49,961	49,863	49,739	49,550	49,274

※実態は「保育所における一時預かり」延べ人数

※推計値の中にはファミリー・サポート・センター、トワイライトステイでの預かりを含んでいる。

■参考

国の手引きに基づく幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外の量の見込み

（単位：人日）

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間の場合	14,966	15,984	14,819	13,957	-	174,210	173,073	172,960	172,521	171,853
下限64時間の場合						172,544	171,434	171,315	170,876	170,208

※実態人数は「保育所における一時預かり」

※推計値の中にはファミリー・サポート・センター、トワイライトステイでの預かりを含んでいる。

<区域別 一時預かりの量の見込み>

「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）」の量の見込みは、将来の幼稚園利用者割合で按分して算出した。

「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外」については、将来の0～2歳児人口割合で按分して算出した。

(5)一時預かり事業

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

(単位:人日)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	357,810	352,108	353,225	353,255	353,134	361,542	355,782	356,909	356,940	356,818
都心	95,731	94,225	94,292	94,054	93,687	96,699	95,219	95,301	95,103	94,692
中部	117,109	116,325	118,072	118,670	120,211	118,354	117,485	119,322	119,848	121,478
東部北	72,705	71,301	70,788	70,486	69,314	73,494	72,065	71,504	71,244	70,019
東部南	10,222	9,785	9,743	9,692	9,705	10,301	9,915	9,874	9,765	9,780
西部北	15,552	15,173	15,248	15,033	14,944	15,729	15,344	15,366	15,148	15,115
西部南	31,159	30,071	30,055	30,397	30,770	31,458	30,355	30,343	30,684	31,119
南部	15,332	15,228	15,027	14,923	14,503	15,507	15,399	15,199	15,148	14,615

※将来の幼稚園利用者割合で按分

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外>

(単位:人日)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	47,904	47,810	47,691	47,510	47,245	49,961	49,863	49,733	49,550	49,274
都心	11,297	11,228	11,165	11,085	10,990	11,782	11,710	11,643	11,561	11,462
中部	14,942	15,113	15,245	15,386	15,489	15,583	15,764	15,899	16,046	16,154
東部北	6,493	6,361	6,266	6,145	6,031	6,772	6,634	6,534	6,409	6,290
東部南	2,968	2,950	2,921	2,879	2,829	3,095	3,077	3,046	3,003	2,951
西部北	3,399	3,374	3,337	3,296	3,246	3,545	3,518	3,480	3,437	3,386
西部南	6,418	6,480	6,482	6,487	6,471	6,694	6,758	6,759	6,766	6,748
南部	2,387	2,304	2,275	2,232	2,189	2,490	2,402	2,372	2,328	2,283

※将来の0～2歳在宅児童数で按分

(6) 病児・病後児保育事業

■国の手引き

①対象

年 齢：0歳から5歳以下

潜在家庭類型：A、B、C、E

②病児・病後児の発生頻度

上記対象者について、問 22-1（病気やけがで事業ができなかった場合の対処方法）で、「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」に回答した者のうち、問 22-2（病児・病後児保育等の利用意向）で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した者と、問 22-1 で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の合計を問 22 の回答者全員で割る。

③利用意向日数

上記 1 の対象者について、問 22-2（病児・病後児保育等の利用意向）で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答があった日数の総計と、問 22-1 で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した日数の総計を足し合わせる。

先に求めた「日数の総計」について、問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」、問 22-1 で「オ. 病児・病後児の保育を利用した」「キ. ファミリー・サポート・センターを利用した」「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答があった人数の合計（「延べ」でなく「実人数」、「0日」回答は除く）で割った数。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「発生頻度」×「利用意向日数（日）」
＝「量の見込み（人日）」

※国の調査票・問 22-1 は、高松市調査票・問 11-1

国の調査票・問 22-2 は、高松市調査票・問 11-2

但し、高松市では選択肢に「ファミリー・サポート・センターを利用した」はない。

■高松市の考え方

病児保育は、平成 23 年度から減少傾向にある中、国の手引きによる算出結果と比較すると大きく乖離している。

そこで、本市では過去の利用率（利用延べ人日÷0～11歳児童数）の推移から、年 0.56%の伸びを見込んで将来の利用率を設定し、これに将来の児童人口（0～11歳）を乗じて算出する。

量の見込みの算出は

「利用率（平成 23 年度・24 年度平均）」×「0～11 歳の児童人口」＝「量の見込み（人日）」

<病児・病後児保育事業の量の見込み>

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間 下限64時間共通	3,243	4,153	5,869	5,806	-	6,216	6,451	6,664	6,909	7,144

<区域別 一時預かりの量の見込み>

病児・病後保育事業の量の見込みは、将来の0～11歳の児童人口割合で按分して算出した。

(6)病児保育事業

(単位:人日)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	6,216	6,451	6,664	6,909	7,144	6,216	6,451	6,664	6,909	7,144
都心	1,655	1,719	1,777	1,853	1,924	1,655	1,719	1,777	1,853	1,924
中部	1,533	1,626	1,719	1,808	1,899	1,533	1,626	1,719	1,808	1,899
東部北	896	917	931	945	959	896	917	931	945	959
東部南	490	502	511	521	531	490	502	511	521	531
西部北	441	452	459	471	481	441	452	459	471	481
西部南	778	805	831	865	899	778	805	831	865	899
南部	423	430	436	446	451	423	430	436	446	451

※0～11歳の将来の児童数割合で按分

■参考

国の手引きに基づく病児・病後児保育事業の量の見込み

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間	3,243	4,153	5,869	5,806	-	76,756	76,123	76,126	75,969	75,724
下限64時間						75,143	74,523	74,526	74,372	74,133

(7) ファミリー・サポート・センター事業

■国の手引き

①対象

年 齢：5歳児

潜在家庭類型：全てを対象

②利用意向率

上記対象者について、低学年・高学年ともに、問 26、問 27（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「7. ファミリー・サポート・センター」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

③利用意向日数

上記対象者について、低学年は問 26、高学年は問 27 で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答のあったものの平均日数を算出する。

④量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率」×「利用意向日数（日）」× 52 週
 = 「量の見込み（人日）」

※国の調査票・問 26 は、高松市調査票・問 15

国の調査票・問 27 は、高松市調査票・問 16

※但し、高松市調査票では「1～4年生」と「5～6年生」の区分で聞いている。

■高松市の考え方

ファミリー・サポート・センター事業は、就学前と就学児童を区別して算出する必要があるが、国の手引きでは、就学前児童は一時預かりの量の見込みに含まれており、就学児童は、上記のとおり算出する方法が提示されている。

本市のファミリー・サポート・センター事業は、平成 23 年度をピークに減少傾向にあるが、国の手引きによる算出結果と比較すると大きく乖離している。

今後も需要は継続していくと見込まれることから、現在の利用状況を踏まえ、ピークであった平成 23 年度実績を量の見込みとする。

<子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）の量の見込み>

（単位：人日）

	実態					推計				
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
就学前	1,545	2,357	3,024	3,239	3,099	3,240	3,240	3,240	3,240	3,240
小学校低学年	1,279	1,731	2,802	2,784	1,748	2,790	2,790	2,790	2,790	2,790
小学校高学年	0	52	74	208	501	500	500	500	500	500
合計	2,824	4,140	5,900	6,231	5,348	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530

※下限 48 時間、下限 64 時間共通

<区域別 ファミリー・サポート・センター事業の量の見込み>

ファミリー・サポート・センター事業の量の見込みは、将来の0～11歳の児童人口割合で按分して算出した。

(7)ファミリー・サポート・センター事業(就学前+就学児)

(単位:人日)

	下限時間48時間の場合					下限時間64時間の場合				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530	6,530
都心	1,741	1,739	1,744	1,750	1,758	1,741	1,739	1,744	1,750	1,758
中部	1,610	1,646	1,684	1,709	1,736	1,610	1,646	1,684	1,709	1,736
東部北	941	928	912	894	877	941	928	912	894	877
東部南	514	508	500	493	485	514	508	500	493	485
西部北	463	458	449	445	440	463	458	449	445	440
西部南	817	815	814	818	821	817	815	814	818	821
南部	444	436	427	421	413	444	436	427	421	413

※0～11歳の将来の児童数割合で按分

■参考

国の手引きに基づく子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)の量の見込み>

<1～4年生>

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間						29,744	30,004	29,900	29,692	29,380
下限64時間						26,832	27,092	26,988	26,780	26,520

<5～6年生>

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間						5,148	5,044	4,888	4,940	4,992
下限64時間						3,640	3,536	3,432	3,484	3,536

<小学生計>

(単位:人日)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
下限48時間						34,892	35,048	34,788	34,632	34,372
下限64時間	1,783	2,876	2,992	2,249		30,472	30,628	30,420	30,264	30,056

(8) 利用者支援

■国の手引き

教育・保育施設や地域の子育て支援の事業に係る情報集約・提供、相談等を実施することから、教育・保育施設や他の地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを勘案して、当事業の量の見込みの算出をすること。

<利用者支援の量の見込み>

	推計				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
全市	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所

本市では、今後、周知啓発を進め、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行う子育て支援コーディネーターを配置する。

(9) 妊婦に対する健康診査

■高松市の考え方

ニーズ調査によらずに推計することとなっており、本市では以下の算出方法とする。
「将来の0歳児数(人)」×「H24年度の受診実人数の0歳児人口に対する割合」
×「H24年度の一人当たり回数(12回/人) = 「量の見込み(人回)」

<妊婦に対する健康診査の量の見込み>

(単位:人、回)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
受診実人数	4,061	4,025	4,000	3,983	-	3,980	3,965	3,959	3,931	3,894
受診延べ人数	42,518	45,917	46,741	46,678	-	47,760	47,580	47,508	47,172	46,728
1人当たり回数	10.5	11.4	11.7	11.7	-	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

(10) 乳児家庭全戸訪問事業

■高松市の考え方

ニーズ調査によらずに推計することとなっており、本市では新生児すべてを訪問することを目標とするため、量の見込みは新生児数（推計）とする。

<乳児家庭全戸訪問事業の量の見込み>

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
対象者数	4,031	3,965	3,991	3,943	-	3,829	3,815	3,809	3,782	3,746
訪問者数	3,279	3,822	3,449	3,501	-	3,829	3,815	3,809	3,782	3,746
訪問率	81.3%	96.4%	86.4%	88.8%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(11) 養育支援訪問事業

■高松市の考え方

ニーズ調査によらずに推計することとなっており、本市では H21 年度～H24 年度の実績と乳児家庭全戸訪問事業の対象者数に対する比率に基づき、以下のとおり算出する。

<養育支援訪問事業の量の見込み>

(単位:人)

	実態					推計				
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
対象者数(人)	48	44	43	36	-	47	47	47	46	46
延べ訪問回数(回)	394	368	363	355	-	460	459	458	454	450